

令和5年度 (2023年度)

東川町教育行政執行方針 (ダイジェスト版)

生きる力

— 子ども一人一人を尊重し 自立を助け 生きる力を育む —



題字：鈴木幸恵教諭 (東川第一小学校)
撮影：清水エリ



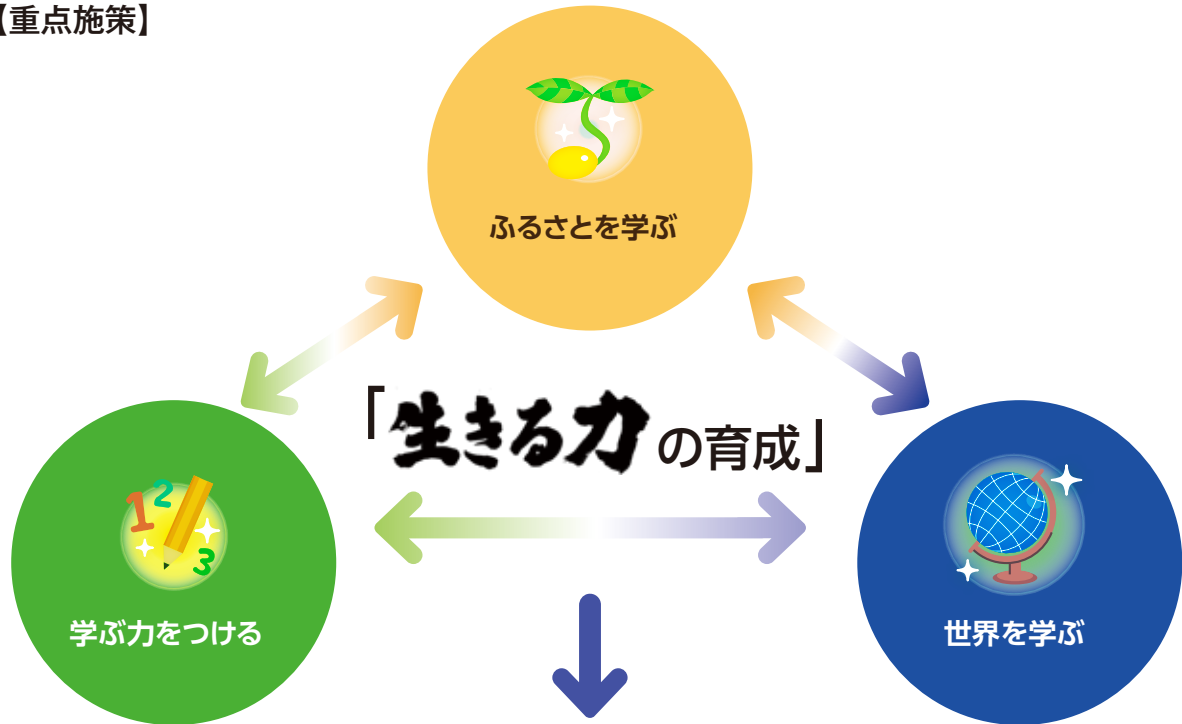
東川町教育委員会

東川町教育行政執行方針

教育行政の体系

【基本方針】「子ども一人一人を尊重し 自立を助け 生きる力を育む」

【重点施策】



令和7年度
までの目標

ふるさとを愛し 共生・共和・共栄の心で未来の社会を
創造できる 夢と志を持った人材を育成する

はじめに

子どもは、可能性に満ちたかけがえのない独立した存在として生まれてきます。子どもが本来持っている創造性・探究心・チャレンジする心を大切に育み、失敗しない指導ではなく、挑戦し小さな失敗を多く経験して本人が気づき、考え、学び、体得し、夢と志を持って成長していける、子ども中心の社会環境づくりが大切です。

また、自分だけが良いのではなくみんなが良い (Well-Being) <注1>世界に開かれた共生・共和・共栄社会を自ら創造しようとする自立した人材が求められています。

今、学齢期の子どもたちは、10～20年後に良き改革者として実社会をけん引する立場となって活躍していくこととなり、未来の社会で必要とされるスキルや非認知能力など豊かな人間性と自立の心を身に付けることが必要です。

基本方針

「ふるさとに誇りと愛着を持ち、思いやりや共感力を備え、主体的に学び続けることができ、多様な価値観を持つ他者と協力して未来を切り拓くことができる子ども」を育成します。このことから、令和5年度の基本方針を「子ども一人一人を尊重し 自立を助け 生きる力を育む」とし、次の3つの重点施策について取り組みます。

<注1>「Well-Being」：身体的・精神的・社会的にも良好な状態をいう。

重点施策

① ふるさとを学ぶ

本町には、美しく豊かな自然、固有の歴史や芸術文化があります。これらの地域資源を効果的に活用し、自然や歴史、芸術文化や暮らしに関することなどについて学習を深めることにより、ふるさとへの理解を深め、東川町で生まれ育ったことを誇りに思い、社会に貢献できる人材育成に努めます。

② 学ぶ力をつける

全ての子どもたちが、興味・関心を持って「学ぶことが楽しい」と感じ、多様な他者と共に主体的に学び続けることができる子どもを育成します。また、ICTを効果的に活用すると共に、主体性・対話性・協働性を持って学び合える力を育みます。

③ 世界を学ぶ（教育課程特例校による新教科「Globe」の推進）

自国と地域の文化や伝統に根ざした自己の確立（Local）、多様な文化や価値観を受容し共生できる態度（Global）、文化の異なる人々との英語をツールとしたコミュニケーション能力（Communication）を育成します。そして、地球市民的観点や国際的な視野で考えることができる力を育みます。このため、特別の教科「Globe」を文部科学省の「教育課程特例校制度」＜注2＞を活用して、幼・小・中・高の連携のもとに実施すると共に、フィンランドなど海外の学校との交流を進めます。

＜注2＞「教育課程特例校」：学習指導要領によらず、学校や地域の実態に照らしてより効果的な教育を実施するための教育課程の特例を活用する学校。



《2023年度の主な施策》

就学前教育（幼児教育・乳幼児保育）

[担当：子ども未来課]

事業名等	内容等
幼児期に育みたい資質・能力の育成	「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」等が要請する資質・能力のための、遊びを通じた総合的な指導により、小学校への円滑な接続に努める。
異文化交流や英語活動など国際教育の推進	ALT、CIR、SEAなど町内在住外国籍を持つ方の協力を得ながら、修学前の児童を対象に、楽しく外国文化や英語でのコミュニケーションを学ぶ「Globe」を実施する。
絵本の読み聞かせの充実	学生・地域ボランティアなどに絵本の読み聞かせや、子どもが絵本を手に取りやすい園内の環境整備を行い、家庭における読み聞かせを促す。
教育・保育環境の充実	園内組織体制の充実、保育士確保のための職員待遇の改善、地域おこし協力隊や子育て支援員の活用などにより教育・保育環境の充実を図る。
地域子育て環境の充実	一時預かり及び子育て支援センターの事業充実により地域の子育て環境の充実を図る。
町内の小規模保育事業所・企業主導型保育事業所、他市町村との連携	保育サービス充実のため、町内小規模保育所や企業主導型保育事業所、近隣自治体やそこに立地する保育事業所と連携を図ると共に受入れ児童増を協議する。

《2023年度の主な施策》

学校教育

[担当: 学校教育課]

事業名等	内容等
日常的な読書活動の推進と学校図書館司書の配置	朝読書や読み聞かせなど読書活動の充実、教科学習での学校図書館の活用と各校図書館司書の配置。
期限付教諭(町採用)、学習支援員、教育補助員、特別支援教育支援員等の配置	期限付教諭: 東中-2名、第一・二・三小-1名 学習支援員: 東小-3名、第二小-1名、第三小-2名、東中-2名、外国籍子弟支援員(東小・東中) 教育補助員: 東小-3名、特別支援教育支援員: 全小中学校 理科観察実験アシスタント: 第一・二・三小-各1名
学びの個別最適化と指導体制の充実	習熟度別指導・少人数指導など「個別最適化」を進め、自ら学び考える力を育成し、特異な才能のある児童生徒の能力を伸ばす。 ・小学校「ゆめスクール」・中学校「地域未来塾」の充実
SC・SSWの配置と教育支援室の設置	各校巡回スクールソーシャルワーカー1名・スクールカウンセラー1名を配置。中学校にサポートルームを設置。 教育支援室(ふるさと交流センター内)を設置し、町スクールソーシャルワーカーを配置。
国際教育交流事業の実施	・フィンランド ピッコラ中学校派遣交流事業(生徒派遣: 8名程度、期間: 10日間程度) ・フィンランド カンガサラ市教員受入事業(教員受入1名1カ月)
国際教育「Globe」の推進	「教育課程特例校」制度を活用して、幼・小・中(高校協力)で独自の国際教育を実施すると共に、学んだ能力を生活の中でも活用できるよう体験を充実し、海外との交流を図る。 ・英語教育指導員の配置: 東中~1名 ・英語専科教員の配置: 1名 ・ALT-6名、CIR-11名、SEA-5名、JETプログラムコーディネーター-1名配置
奨学金助成事業の推進(要件を満たす大学等進学者への助成)	・東川町大学進学奨学助成金(+経済対策~12万円/人) 1年次~海外大学70万円、国内大学・短大・専門学校等50万円 2年次以降~自宅外通学4万円/月、自宅通学1万円/月 ・小西健二奨学金(国公立大学等に限定)大学~20万円、短大等~10万円/人 ・ものづくり技術者育成奨学金-建築・土木・木工芸等技術者養成~10万円/人
ICT教育とGIGAスクール構想の推進	一人一端末やICT機器を活用し、情報活用能力の育成や個別最適化された学び、協働的な学び、探求型の学びを実践する。デジタル教科書や教育ソフトを有効活用し、子どもたちが自ら学び取る授業への質的な転換を進める。 ・新高校1年生(東中3年生)へのiPadプレゼント ・東川高校1年生へのchromebook貸与
高校生向け公設塾の開設	町内高校生や東川高校生を対象とし、公設塾を開設。安価な費用で将来の可能性を広げることができる。
東川町学び舎事業推進	東川高校や町に立地する旭川福祉専門学校の振興を進めると共に、町内企業や町と協定を結んでいる企業や大学と連携して中学生から大学生や社会人まで皆が学び合う場と機会をつくる。Local Innovation Program Festivalの実施。
学校長寿命化計画の推進	学校の長寿命化個別施設計画に基づき、その計画に沿った改良工事を実施。 ・第一小工事。

社会教育

[担当: 生涯学習推進課]

事業名等	内容等
学社連携事業の推進	学社連携推進協議会を推進母体として、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」が車の両輪となって、地域全体で未来を担う子どもたちの人間育成を推進する。
放課後の居場所づくりの推進	学童を利用する対象学年を見直し、中心市街地の一極集中から分散化を図り、子どもの身近な地域でゆとりある放課後の居場所づくりを進める。
地域おこし協力隊事業の活用	わくわくプレイス、「コンサドーレU12東川」活動支援、町民健康促進など、地域おこし協力隊7名を積極的に活用。
わくわくプレイス事業の充実	遊びの専門的知識をもったプレイワーカーを配置し、東川の豊かな資源を活用して、子どもの自主性・創造性を伸ばし東川らしい子どもを育成。各地域での移動講座の充実し、スタッフ研修等を随時実施。
魚津市越中踊り交流事業の支援	富山県魚津市から越中踊りの指導者を招聘。東川町より魚津市へ子供保存会を派遣し、相互の文化芸能における交流事業を支援。
全国高校総体登山競技(インターハイ)開催の支援	本年度、北海道で開催されるインターハイの登山競技が東川町をメインに開催されるため、財政面及び人的な側面から大会を支援する。
スポーツ国際交流員(SEA)の活用	JETプログラムによるスポーツ国際交流員(SEA)について、「バレー」「サッカー」「クロスカントリー」に加え、「卓球」「野球」におけるSEAを追加配置し、5名体制として町内のスポーツ振興と国際交流などの活性化に繋げる。
「ちびっこスポーツクラブ」の実施	小学1年~2年など低学年児童向けに「ちびっこスポーツクラブ」を実施し、早期の体づくり、動きのコーディネーション等により、子どもたちが楽しみながらスポーツに触れる環境を整備する。
中学校部活動指導員の配置	野球、サッカー、インターナショナルクラブ、バレーボール、バドミントン等の部活動において、地域人材を活用し、技術指導や大会への引率等を行う「部活動指導員」を配置。
民間企業と連携した健康づくりの実施	国の「地域活性化企業人」を活用し、民間企業から派遣社員を受け入れB&Gトレーニンググループの管理運営協力、人材育成のほか健康づくり講座などのプログラムを実施。